

基本情報

国名	ニュージーランド
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	オークランド大学
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択)	言語文化学部	
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	ペルシア語	
学年		4
留学時学年を選択		4

留学先

学部	Faculty of Art
留専攻	言語教育

留学期間

開始	2020/2/24
終了	2020/7/6

留学前

留学の目的	英語教授法を学ぶこと 英語圏で生活する中で真に求められている英語力を把握すると共に自らの英語力を向上させること 様々な文化的背景を持つ多様な国々からの留学生との交流を通して異文化コミュニケーションの経験をする
-------	--

求められた語学力

英語TOEFL	overall 80/60以上(internet-based/paper-based) / writing 21以上
英語	IELTS overall 6.0以上 / 各技能5.5以上
その他	
レベル	

情報収集方法

その他	HP
参考になるHP	https://www.auckland.ac.nz/en.html

留学準備

ビザ申請を始めた時期	11月
ビザ申請方法	オンライン申請 https://www.immigration.govt.nz/new-zealand-visas/apply-for-a-visa
航空券を準備した時期	11月
航空券準備方法	航空会社HPから
履修登録を始めた時期	11月
履修登録方法	大学HPから（stage II, IIIの授業は履修許可の交渉ができる）
入寮申込みを始めた時期	9月
入寮申込み方法	大学HPから
住居探しを始めた時期	
住居探し方法	
保険に加入した時期	11月
保険加入方法	学研災
予防接種を受けた時期	
予防接種の種類	
語学強化を始めた時期	
語学強化方法	
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

--

学年暦

2月

24日 オリエンテーション週開始
 3月
 2日 授業開始
 4月
 10-27日 休暇（コロナウイルスのため一週間後送りに）
 6月
 12日 授業終了（同上）
 6月
 18日～ 学期末試験（同上）
 7月
 6日 学期終了（同上）

留学生科目

科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	LANGTCHG 101: Introduction to Language Teaching
使用言語	英語
科目名	LANGTCHG 202: Introductory English Language Analysis for Teachers
使用言語	英語
科目名	LANGTCHG 302: Practical Language Teaching
使用言語	英語
科目名	LANGTCHG 311: Language and Technology
使用言語	英語
科目名	
使用言語	

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	2週間で568ドル（4万円弱）
支払い方法	大学HPの個人ページからカード払い
部屋人数（人部屋）	1人（トイレ、バスルーム共有） ※私が暮らしていたTe Tirohangaは各々ベッドルーム+全員が使うキッチンフロア、バスルーム / Carlawのように4人でベッドルーム×4+バスルーム、キッチン、リビングを共有（シェアフラットっぽい）タイプもあります。
家族・同居人（人）	なし
門限	なし
食事	自炊
セキリティ-	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★
全体の印象	★ ★ ★
大学までの距離	建物によりますが、中心部の図書館だと600m

大学までの所要時間	図書館まで5-10分
応募方法	大学HPから
近隣施設	スーパー
その他の近隣施設)	食事処、駅
住居にあった設備	机・椅子（部屋） 机・椅子（共有） キッチン（共有） ベッド（部屋） 冷蔵庫（共有） シャワー（共有） クローゼット（部屋） 洗面台（共有） インターネット（部屋） ランドリー（共有） 冷暖房（部屋） トイレ（共有）
その他住居にあった設備	スカイデッキ

治安状況

住居周辺の評価	★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★
大学周辺の評価	★ ★ ★
気をつけるべき点	夜は明かりも少なく暗いです。

学内環境

食堂の評価	☆ ☆ ☆ ☆ ☆
食堂についてのコメント	食堂は無し/構内にカフェがたくさんあります。
図書館の評価	★ ★ ★ ★ ★
図書館についてのコメント	広くて日本語書籍も充実しています。
インターネットの評価	★ ★ ★ ★ ★
インターネットについてのコメント	大学施設周辺ではWi-Fiが使えます。自由に使えるパソコンもあります。
売店・ブックストアの評価	★ ★ ★ ★
売店・ブックストアについてのコメント	あまり広くはないです。
大学のサポートの評価	★ ★ ★ ★
大学のサポートについてのコメント	留学生支援、学習支援、語学力支援等充実しています。

全体の印象) 評価



全体の印象) についてのコメント

充実した留学生への支援や施設をどれだけ活用できるか次第です。

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)

課題や読むべき文献が割とあったので私は自習と自炊が主でしたが、栄えている通りが大学から近いので気軽に遊びに行けます。

クラブは週1程度で活動しているところが多いようです。

大学寮に滞在している学生は無料でジムも使えます。

留学生向けのイベントも割と頻りに企画されていました。

パネルやポンソンビーでショッピング、カフェ

フェリーやバスで少し郊外に足を延ばすこともありました。

Weekend(休日の過ごし方)

オークランド内の観光スポットはあまり遠くないですし割と短時間で楽しみ尽くせる場所が多いです。

マーケットも色々なところで行われていて、郊外の方がスケールが大きくて楽しいです。

おすすめスポット・旅行先など

近場だとフェリーでワイヘケ島、デボンポート等が人気
北島内の旅行だとロトルア、ワイトモ洞窟、ウェリントン等

南島もクライストチャーチ、クイーンズタウン、マウントクック等とても美しくオススメです。

多国籍料理のお店がたくさんあり、ビーガン料理も充実していて美味しいです。

目標

1

言語教育の分野への理解を深めること



その成果 1

2

英語力の向上



その成果 2

3

異文化コミュニケーションの経験をする



その成果 3

今後の課題

専門分野である言語教育についてのさらなる学び
(特にlingua francaとしての英語について)

スピードが速い/クリアでない英語の聞き取り

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

学期が始まってからの履修登録の修正が外大ほど自由に出来ないこと。

日本文化に関心のある現地学生が多いため(伝統文化とポップカルチャー双方とも)それらについてもっと知っておくべきだったと感じた。

帰国後

Empty box for return comments.

進路予定

就職

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界 教師

後輩へのアドバイス

やりがいのある課題、成果物へのフィードバック、参考資料へのオンラインアクセス等しっかり学ぶための環境が与えられるので、真剣に取り組めばたくさんの学びが得られると思います。

日本人含むアジア系の方がたくさん住んでいるので食の面でとても暮らしやすいです。

(ニュージーランドの中では都会ですが) 刺激的な大都市よりも豊かな自然の中でゆったり過ごしたい人におすすめです。

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えても良いですか？ 可

基本情報

国名	ニュージーランド
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	オークランド大学
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択)	国際社会学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	英語（オセアニア）
学年	3
留学時学年を選択	2

留学先

学部	Faculty of Arts
留専攻	

留学期間

開始	2016/7/19
終了	2017/7/3

留学前

留学の目的	英語力の向上
-------	--------

求められた語学力

英語TOEFL	
英語	IELTS 6.0-
その他	
レベル	

情報収集方法

	HP
その他	
参考になるHP	

留学準備

ビザ申請を始めた時期	5月
ビザ申請方法	
航空券を準備した時期	4月
航空券準備方法	
履修登録を始めた時期	5月
履修登録方法	
入寮申込みを始めた時期	5月
入寮申込み方法	
住居探しを始めた時期	4月
住居探し方法	
保険に加入した時期	4月
保険加入方法	
予防接種を受けた時期	
予防接種の種類	
語学強化を始めた時期	
語学強化方法	
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

--

学年暦

7月
Semester 2
10月
Exam
11月

Semester break
3月
Semester 1
6月
Exam
1月

留学生科目

科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	Sociology 100
使用言語	English
科目名	Sociology 105
使用言語	English
科目名	Spanish 104
使用言語	English
科目名	Academic English 101
使用言語	English
科目名	
使用言語	

居住環境

居住環境	学生寮
	ルームシェア
家賃	\$170-\$350
支払い方法	オンライン、キャッシュ
部屋人数 (人部屋)	
家族・同居人 (人)	0-9人
門限	なし
食事	
	★
	★
セキリティ-	★
	★
	★
	★
全体の印象	★
	☆
	☆
大学までの距離	徒歩圏内
大学までの所要時間	20分
応募方法	オンライン
近隣施設	コンビニ
	銀行
	病院
	薬局
その他の近隣施設)	

住居にあった設備

- 机・椅子（部屋）
- 机・椅子（共有）
- キッチン（共有）
- ベッド（部屋）
- 冷蔵庫（共有）
- 本棚（部屋）
- シャワー（共有）
- クローゼット（部屋）
- 洗面台（共有）
- インターネット（部屋）
- インターネット（共有）
- ランドリー（共有）
- 冷暖房（部屋）
- トイレ（共有）

その他住居にあった設備

治安状況

住居周辺の評価



大学周辺の評価

気をつけるべき点

夜の公園以外は基本安全です

学内環境

食堂の評価



食堂についてのコメント

種類はあまりない

図書館の評価



図書館についてのコメント

学習スペースが豊富

インターネットの評価



インターネットについてのコメント

学生用の無料ワイファイ有

売店・ブックストアの評価



売店・ブックストアについてのコメント

値段は少し高い

大学のサポートの評価



大学のサポートについてのコメント



全体の印象) 評価



全体の印象) についてのコメント

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)	勉強 ジム 友人と外食、外出
Weekend(休日の過ごし方)	勉強 友人と外食、外出、旅行

おすすめスポット・旅行先など

サウスアイランド、オーストラリア

目標

1	スピーキング力の向上
その成果 1	★★★★
2	☆☆☆☆
その成果 2	☆☆☆☆
3	☆☆☆☆
その成果 3	☆☆☆☆

今後の課題

留学当初は単なる英語力の向上が目標でしたが、途中からは英語力にとらわれずに勉強そのものに集中することができました。帰国後にそのモチベーションをいかにキープするのが課題です。

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

日本から英語の文法書、旅行雑誌などを持って行きましたが、重いだけなのでインターネットで補える本などは日本においてくればよかったと思いました。

帰国後

進路予定

未定

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界

後輩へのアドバイス

授業のレコーディングやパワーポイント、生徒同士のディスカッションなどを含むオンラインでの学習サービスが整っていて、勉強しやすい環境です。

また、サウスアイランドはどこへ行っても絶景なので旅行に行かれることを強くおすすめします。

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えても良いですか？ 不可

基本情報

国名	ニュージーランド
その他の国名（国名で「その他」を選択した場合）	
大学名	オークランド大学
その他の大学名（大学名で「その他」を選択した場合）	

所属

言語文化学部・国際社会学部・大学院を選択)	国際社会学部
各学生の専攻する地域言語一覧より選択	ドイツ語
学年	3
留学時学年を選択	2

留学先

学部	指定なし
留専攻	Bachelor of Commerce

留学期間

開始	2016/2/19
終了	2016/6/27

留学前

留学の目的	英語力向上、国際交流、世界ランクに入っている大学の優秀な学生たちと競ってみたい かった、等
-------	--

求められた語学力

英語TOEFL	80以上
英語	
その他	
レベル	

情報収集方法

	HP
その他	
参考になるHP	

留学準備

ビザ申請を始めた時期	11月
ビザ申請方法	オンライン
航空券を準備した時期	1月
航空券準備方法	航空券取扱HP
履修登録を始めた時期	12月
履修登録方法	大学HP
入寮申込みを始めた時期	10月
入寮申込み方法	大学HP
住居探しを始めた時期	9月
住居探し方法	大学HP
保険に加入した時期	12月
保険加入方法	大学の保険に強制加入、大学HP
予防接種を受けた時期	
予防接種の種類	
語学強化を始めた時期	10月
語学強化方法	書籍、バイト
その他の準備を始めた時期	
その他の準備内容	

留学中

--

学年暦

2月
Semester 1 start
4月
Mid-semester break

4月
Mid-semester test
6月
Study break
6月
Exam
6月
Semester 1 end

留学生科目

科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語
科目名
使用言語

学部・大学院科目

受講	可
受講可→聴講のみ/単位取得を選択	単位習得

学部・大学院科目

科目名	Academic English
使用言語	English
科目名	Accounting
使用言語	English
科目名	Micro Economics
使用言語	English
科目名	Statistics for business students
使用言語	English
科目名	
使用言語	

居住環境

居住環境	学生寮
家賃	学生寮によるが私が住んでいたCarlaw Park Student Villageは2週でNZ\$504
支払い方法	クレジットカード (via 大学HP)
部屋人数 (人部屋)	
家族・同居人 (人)	2~3
門限	なし
食事	自炊 (フラットにつき一つキッチン有)
	★
	★
セキリティー	★
	★
	☆
	★
全体の印象	★
	★
	☆
大学までの距離	寮と授業を受ける学部によるが大体徒歩圏内
大学までの所要時間	徒歩10分
応募方法	大学HP
その他の近隣施設)	ファストフード寿司、カフェ、簡易コンビニ付ガソリンスタンド、
住居にあった設備	机・椅子 (部屋)
	キッチン (共有)
	ベッド (部屋)

その他住居にあった設備

冷蔵庫（共有）
シャワー（共有）
クローゼット（部屋）
洗面台（共有）
インターネット（共有）
ランドリー（共有）
冷暖房（部屋）
冷暖房（共有）
トイレ（共有）
共有テレビ、共有ソファ、寮には印刷機のある学習室、ピアノとドラムのある音楽室、自販機など

治安状況

住居周辺の評価



大学周辺の評価

気をつけるべき点

繁華街と大学を挟んで逆方向なので治安は良いが夜の一人歩きは避けた。

学内環境

食堂の評価



食堂についてのコメント

食堂はないがたくさんカフェが入っている。平均NZ\$10

図書館の評価



図書館についてのコメント

蔵書数も多く、勉強スペースも豊富。試験期間中は人であふれる。

インターネットの評価



インターネットについてのコメント

大学街どこでも使える。IDは最初に配られる。寮でも同じWifiだった。

売店・ブックストアの評価



売店・ブックストアについてのコメント

2階建てで、1階が教科書、2階が一般書籍や文房具など。高い。

大学のサポートの評価



大学のサポートについてのコメント

ほぼメールで対応。手順を踏めばきっちり答えてくれるが、少々返事までに時間がかかることもある。

全体の印象) 評価



全体の印象) についてのコメント

勉強に適した環境。学内PCに使用時間制限があるのは不便かも。

スケジュール

Weekday(放課後の過ごし方)

友人と寮の音楽室にこもる、チェスをする、課題をする、小テスト(オンライン)の勉強、読書、自炊など。

Weekend(休日の過ごし方)

映画を見に行く、小旅行、友人と街でスイーツ巡りなどなど。

おすすめスポット・旅行先など

旅行なら断然南島です。テカポの星空は最高でした。日本で自動車の免許を取っておけば大使館で40ドル以下で翻訳してもらい、NZで使用することができます。バス旅もできますが、NZの大自然を楽しむにはドライブが一番だと思います。周りの友人たちもみんな、Mid-semester breakやExam breakに近場のビーチから南島、オーストラリアまで旅行していました。でもExam breakに旅行するのは正直お勧めしません...

目標

1



その成果 1



2



その成果 2



3



その成果 3



今後の課題

英語力の維持、ビジネス英語の習得、専門分野における学習内容の発展

直面した問題、日本で準備すべき、だったと感じたこと

英語力。TOEFLの規定点数以上を取ったからOK、と安心してしまふのではなく、自分の専攻する内容のテクニカルタームもある程度身につけておくべき。また、授業登録は早めにしないと人気の教授・教室から埋まっていくため、登録時期(秋ごろ)が始まったらすぐに動くべき。

帰国後

進路予定

就職

就職の場合：内定している あるいは 目指す業界 未定

後輩へのアドバイス

オークランド大学はNZの大学で唯一世界ランク100位以内に入っているため、優秀な学生が多く、学習環境も整っています。特にビジネススクールは学内でもかなり優遇されているように思います(講義棟も綺麗です)。半年なり1年なりの留学がどれほど自分の糧になるかは努力次第だと感じました。早くから計画を立てて準備をすることを勧めます。みなさんの留学が実りあるものになることを祈ります。

今後学生から質問が出た場合、メールアドレスを伝えても良いですか？ 可